

協議の概要

1 はじめに

下北小・中学校教頭の働き方改革推進協議会では、教頭の働き方改革の推進に資する取組を検討するため、令和7年9月1日（月）に会議を開催しました。その議事録を送付しますので、各市町村教育委員会・各校におかれましては、学校における働き方改革を進めるための手がかりとして御活用いただきますようお願いいたします。

また、会議では、教頭の働き方改革に向けて管内の各市町村教育委員会・各校が共通して実践する事項（以下「共通実践事項」という。）を定めましたので、その実現に向けて取組を進めるようお願いいたします。

なお、共通実践事項につきましては、今後、取組状況等を確認するためのアンケートを予定しており、令和8年2月に開催予定の第2回協議会において内容を確認し、次年度の取組等を検討して参ります。

2 送付資料

- （1）令和7年度第1回下北小・中学校教頭の働き方改革推進協議会 議事録（概要版）
- （2）令和7年度第1回下北小・中学校教頭の働き方改革推進協議会 議事録（全文）

3 共通実践事項

（1）校内巡回の見直し

児童生徒の安全管理を目的とした校内巡回や、児童生徒の登校を見守るため、多くの教頭が勤務時間よりも早く出勤しています。また、施錠を含めた退勤前の校内巡回についても、多くの教頭が実施しています。

しかし、校内巡回は必ずしも教頭だけが担う必要はない業務であると考えます。例えば、朝の校内巡回は、勤務時間の開始時刻が早く設定されている用務員等が実施したり、退勤前の巡回は、他の教職員と分担したりすることができると考えられます。各校においては、教頭の負担を分散し、平準化するため、校内巡回の見直しをお願いします。

（2）教頭と他の職員との業務分担の見直し

文部科学省が公表している「令和6年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果（全国の状況）」では、時間外在校等時間が45時間を超える人の割合は、校長や教諭は約20～30%ですが、教頭は約65%と高い状態です。このため、各校においては、校長と教頭、教頭と各分掌主任、教頭と事務職員の間で業務分担を見直し、必ずしも教頭が行わなくてもよいものの分担について検討をお願いします。なお、年度途中から分担の見直しが困難な業務については、来年度からの実施に向けて必要な準備を進めるようお願いいたします。

4 共通実践に向けて努力する事項（生成A I の活用）

協議会においては、特に新規の文書を作成する場合などに、生成A I を活用することで作成する時間を削減できるのではないかという意見がありました。しかし、生成A I については、各市町村教育委員会においてガイドライン等の規定の整備が必要となるため、今年度の共通実践事項ではなく、来年度以降の実施に向けて努力する事項とします。

各市町村教育委員会においては、令和8年度以降の学校における生成A I の活用に向け、ガイドラインの整備等を進めていただくようお願いします。

なお、ガイドラインの整備等に当たっては、文部科学省初等中等教育局が作成した「初等中等教育段階における生成A I の利活用に関するガイドライン」を参考として活用することができます。

令和7年10月21日

下北小・中学校教頭の働き方改革推進協議会

委員長 大島 忍